

社会福祉経営



2024年7月20日 通番 13号

発行、一般社団法人 社会福祉経営全国会議 大阪支部
大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902
☎06-6772-1360
fax06-6772-1376

Mail f-zenkoku@f-osaka.net
責任者、叶原生人



2024/11/29 エル大阪にて開催

大阪支部 社会福祉経営研究交流会に向けて始動！

社会福祉経営全国会議 大阪支部
事務局長 福井 茂

5月10日の支部総会で承認いただきました「第1回社会福祉経営研究交流会」の開催に向け、府下6つのブロックより選りすぐりの実行委員を選出いただきました。

6名中5名は、なんと管理職養成学校の卒業生！さらに1名も保育分野で大きな集いを企画運営される方で、なんととも力強い実行委員会が結成されました。

6月20日、大阪支部事務所にて初の顔合わせ。自己紹介では、法人・施設紹介や趣味や特技なども語り合い、関係が深まればと運営しましたが、さすがは強者揃いの管理職。活発な討議ができる実行委員会でした。

私たち実行委員+事務局(支部役員)は大阪支部結成、2年目にして、200名を参加目標とする取り組みに挑戦します。まずは実行委員会の“なかま”が学びや成長、つながりのある会をめざし、そして11月29日(金)の社会福祉経営研究交流会(会場:エル大阪)では、喜び合える日にしたいと願い、開催まで全力で取り組んでいきたいと思えます。

7月・8月・9月号で2名ずつ、実行委員の紹介をさせていただきます。会員法人のみなさま、今から開催に向けてご期待ください。

【企画概要】

社会福祉経営研究交流会

日時 2024年11月29日(金)

会場 「エル.大阪」 (大阪府立労働センター)

主な企画 午前・・・全体会議

午後・・・分科会

企画の目的 分野を超え経営・実践課題の研究、実践力向上に向けた取り組みを行う

実行委員会は人材育成を目的に組織していく

実行委員体制

委員長 叶原氏(いずみ野)

事務局長 福井氏(あおば)

事務局次長 藤本氏(西淀川)

記録 上田氏(ちぐさの森)

実行委員 つくしんぼ西・蔵重氏、いのこの里・恩田氏、枚方たんぽぽ・高山氏、

サンプルイスひびき・山内氏、支援センターはる・山下氏、第3岸和田作業所・毛下氏

※委員の氏名、所属法人・施設名の一部省略



♥ よろしくお願ひします！

◆2ページに各委員さんの自己紹介を掲載しています。

「ワクワクするぜ！社会福祉経営研究交流会」－委員の自己紹介－

◆ ワクワクする研修会をめざして

たんぽぽ福祉会 枚方たんぽぽ保育園 高山 彰子

「管理職だってワクワクする研修をうけたい」
それぞれがどんな研修会にしたいか、意見交換をしている中、そのような意見がだされた1回目の実行委員会。その言葉を受け、いや皆の中にも同様の気持ちがあったからこそ？2回目の実行委員会では本音と共感があふれる話し合いが行われました。現在の自分の立場や現状、そこに至るまでの経過に共感したり、人材育成のそれぞれの課題について考えさせられたり。人とのつながりが薄まりつつある各施設の様子を聞き今の時代が抱える課題に悩むのはどの業種も同じ、しかしそれでもつながりあおうとする実践があることに希望を見出し、ぜひ話を聞いてみたい…等々。実行委員会がまるで一つの分科

会かのように次々と意見が出され盛り上がりました。

「管理職養成学校出身者ばかり」というメンバーに、少々気後れしながら実行委員会に参加していた私でしたが、気付けば長年の仲間のような安心感の中で語り合っていました。その後の懇親会も個性あふれるメンバーのさらなる一面を知り、笑いの絶えない会となり楽しく過ごしました。

「社会福祉経営研究交流会って名前、長くないですか？」「略称考える？」「ワクワク会にしますか」一同大笑い…そんな楽しい雰囲気の実行委員会が現在進行中です。

◆ 社会福祉経営研究交流会に向けてワクワクが止まらない

ふたかみ福祉会 支援センターはる 山下記永

みなさんはじめまして。今回実行委員をさせていただくことになりました、ふたかみ福祉会の山下記永です。昨年度に管理職養成学校が修了し、ホッとしたのも束の間、法人の常務理事から実行委員の話をチラッと聞いた段階で、二つ返事で勢いのまま引き受けることとなりました。後でメンバー聞いた時に、養成学校卒業生の先輩やパワーのある素晴らしい方ばかりで、その段階からワクワクが止まりませんでした。

11月29日の交流会に向けてですが、初めて大阪支部で行う取り組み…開催に向けて、普通なら期待と不安、緊張なども入り混じるかもしれませんが、そんなことはなく期待と楽しみで仕方ないです(笑)

何故ならば、初めての顔合わせの時から、参加者全員が活発な討議を行い、議論を深めていく姿勢で

いること、何より“この研究交流会をワクワク出来るものにしよう”と一緒に方向を向きながら、取り組んでいると実感できるものだったからです。やっぱり猛者揃いの管理者さん方です。

懇親会があった7月10日では会って2回目にもかかわらず、まるで何回も会ったかのように和気藹々しつつ、福祉や実践のことを話すと熱を帯び、懇親会でも刺激をすごく受けました。

最後に、11月29日の社会福祉経営研究交流会が様々な方々が繋がれる場となり、一人ひとりがワクワク出来るような研究交流会となるように、実行委員の素晴らしい“なかま”と開催に向けて全力で臨んでいきますので、よろしくお願いたします。

2024、夏～秋へ！ 様々な研修や交流会が予定されています！

社会福祉経営全国会議 主催

※各研修は全国会議ホームページから申し込みができます。

- ◆ 財務管理研修 〈基礎編〉 9/12 13時30分～16時30分
〈応用編〉 10/17 同

講師 税理士 山本匡人 氏

- ◆ 労務管理研修 〈基礎編〉 12/12 13時30分～16時30分 講師 特定社労士 井村佐都美氏
〈応用編〉 1/16 13時30分～16時30分 講師 弁護士 西川大史氏

大阪支部 主催

- ◆ 施設における苦情対応 -経営交流会- 8月7日 14時～16時30分
会場、たかつガーデン ※オンラインでは行いません。
参加申込み <https://forms.gle/tqqLxR7gAH41e9go6>



がんばれ 能登!

能登半島地震 被災地視察、支援活動を通じて見たこと、考えたこと — 復旧支援活動に参加報告 ② —

社会福祉経営全国会議 事務局 横山ちえみ

◆ 地震で時が止まったような和倉温泉

和倉温泉の最寄り駅でもある JR 七尾駅では、方々で補修中のコーンやロープが曳かれ、駅周辺の地面にも亀裂や陥没、マンホールが道路上に飛び出したままでした。

全国的に有名な和倉温泉は、目の前に七尾湾が広がり、能登島も望む景勝地で、通常なら観光客で賑わっているところです。しかし、地震のため時が止まったように閑散とし、道路には亀裂が入り、舗装はデコボコで標識も傾き、建物は地面との隙間があり、歩くときは下を見ていなければ転倒してしまいます。多くのホテルや旅館の建物には傾斜や亀裂が入り、窓ガラスも壊れたままです。客室のベッドメイキング、清掃、町の公園整備などで働いていた障害者の方の就労もストップしています。

わたしたちが宿泊したホテルは損傷が少ないので工事関係者や支援者の宿泊だけの営業はされていますが、湯量は少ないので全員が入浴することはできません。やっと使えることになった共同浴場を住民も利用されていました。



◆ 輪島・珠洲市の被害はすさまじく

翌日は宿泊先からすぐ近くの支援センターに集合し、京都、兵庫の福祉事業所から参加された方とともに輪島市、珠洲市の「きょうされん」加盟の福祉事業所を訪問しました。

車で奥能登に向かうにつれ、がけ崩れ、地面の隆起やゆがみが激しくなり、輪島市内に近くなると家屋の1階部分が潰れて2階の屋根瓦が地面を覆っている場面が何か所も見つかります。道を歩く人は少なく、軒並みの各戸に「危険」「注意」の張り紙が張られていました。訪ねた精神障害者作業所の建物は無事でしたが、周辺の家屋は半壊などがあって被災状況の深刻さを見ることが出来ます。



利用者は少しずつ通所できるようになりましたが輪島から海岸沿いの北の道路が山崩れで寸断されて不通であり通所できない方がおられ、開所は半日として、顔を合わせることでお互いが落ち着きを取り戻すことを目的とされていました。支援活動として、事業所内の荷物の整理や移動、昼食の準備を一緒にしました。

大規模な火災に見まわれた朝市の現場は3か月以上経った今も焼けた鉄骨や車がそのまま残り、ビルが倒れ、がれきが積まれた状態で地震のすさまじさを物語っていました。

珠洲市に向かう道には広範囲の山崩れが起き、桜が満開の中で、ここでも何軒かの家が倒壊していました。珠洲市で訪問させていただいた福祉事業所の利用者の多くは避難しており、仮設住宅に入れるかどうかかわからないですとのこと。珠洲と聞くだけで気が重たくなると語る方もおられるぐらいです。またそのような中、職員の被災者も多いとのこととともに、作業では仕事を受注していた会社が地震で閉鎖したり、特産品の箱の組立等店舗やホテルの営業休止で作業が減っており、作業所の運営は厳しい状況です。

◆ 大きな被災の中から復活の歩みが...

奥能登からの復路は海岸線を走り、空気が澄んでいる日には立山連峰が一望できる風光明媚なところです。海岸付近の集落一帯も被災状況はすさまじく、建物の骨格のみ残り、流されてきたがれきや木材が積みあがったままで津波の爪痕がそのまま残っていました。

能登半島の先の震源地に近いこの地域で50年程前に珠洲原発建設計画があったのですが、長年の粘り強い住民運動で建設を止めた話を聞き、「建設が取りやめになって本当に良かった」と感想が上がっていました。

夕食では地元の自治会長さんや災害支援をしている救援活動をしている NPO 法人のメンバーと交流し、被害の実態の深刻さを改めて痛感しました。地域の方々と話し、励まされたこととして、地元の「きりこ祭り」の「きりこ」の作品や縫製品など自主製品も豊富に展示されていて、みなさんが郷土の祭りにかける思いと復旧の熱意が伝わってきました。

(以降、第3回目へ続く。「福祉のひろば7月号」にも支援の報告が掲載されています)



総合社会福祉研究所より

第29回社会福祉研究交流集会 in 関東 にご参加ください

-日常を失わず、平和のうちに生きる-

総合社会福祉研究所は、「すべての人びとのいのちとくらしをささえる諸権利・制度の発展に寄与するため、主として社会福祉及び関連分野の総合的な調査、研究を行い、その成果を広く普及する」ことを目的として活動しており、その一環として全国におられる会員のみならず、年1回の研究交流集会を開催しております。

第2次安倍政権の発足以来、国民生活軽視・大企業利益重視の政治が非常に強化され、その一環として社会保障・社会福祉の緊縮政策も顕著に進みました。今回の集会では、こういった現状認識に基づき、メインテーマを「日常を失わず、平和のうちに生きる」に決定しました。ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのパレスチナ攻撃の悲惨を目の当たりにして、これ以上国家的愚挙・暴挙を引き起こさないようにするためには、福祉の当事者だけでなく、従事者も法人経営者も地位改善を求めて、社会保障・社会福祉の飛躍的な拡充を要求していくことが重要です。研究交流集会を機に、この対抗軸に賛同する人の輪を大きく広げられたらと思います。

1日目では、『『公共』の縮小で、尊厳のある日常生活が守られるのか』をテーマにシンポジウムを行い、それを踏まえて晴山一穂さんが「日本国憲法と公務労働の今日的役割」と題して記念講演を行います。2日目はテーマ別に分かれて5つの分科会と特別講座で交流を深めていきたいと考えています。

集会概要 開催日時 2024年8月31日～9月1日
 会場 東京 立正大学品川キャンパス
 1日目 13時～17時 全体集会、シンポジウム
 記念講演 晴山 一穂氏
 (福島大学・専修大学名誉教授)
 2日目 10時～15時 分科会・講座



参加費 一般 5000円 懇親会費 5000円

◆申し込みは「Peatix」で。右記のQRコードから。 参加申し込み期限 8月21日

◆その他詳細は『総社研』にお尋ねください。 Tel.06-6779-4894

元気でっせ！大阪 -大阪支部ブロック活動報告-

北摂ブロック/ 6月に交流会を2回開催。(ブロック会議と保育部会で)
 次は9月の予定。保育分野は11月。

中河内ブロック/ 8月に学習会を計画中

南河内ブロック/ 7/23に交流会を「あすくの里」で開催予定。

泉州・北河内ブロック/ ブロック役員内で、「ブロック会員の集い」を計画中。

大阪市内ブロック/ ブロック担当役員で「管理職会議」を計画中。

**Fubako**

日々いろんなことがあり、気持ち減入りそうなきときもありますが、この間嬉しいニュースが2つありました。

1つは、大阪市内のマンションで、グループホームの追い出し裁判がありましたが、大阪高裁で7月1日に和解をした、というニュース。2つ目は、旧優生保護法をめぐる訴訟で、最高裁で国に賠償責任があると結論づけたというニュースです。

当たり前のはずの障害のある人の「暮らす権利」「子どもを産む権利」は、こうやって訴えていかないと、まだまだ保障されないということが現実なのですね。

さて、もうすぐ夏本番です。すでにもう夏バテ気味です。青い海を見に行きたいところですが、仕事も落ち着かない、高3娘は受験生、ということで「我慢」の夏になりそうです

社会福祉法人 ふたかみ福祉会 関口奈緒美